

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# ものづくり研究発表大会

## 田辺工業高 3チームが受賞

「わかやま産業を支える人づくり研究発表大会」がこのほど御坊市であり、紀南から参加した田辺工業高校(田辺市あけぼの)の2チームが優秀賞、1チームが審査員特別賞を受賞した。

県内の工業高校や県、企業関係者などでつくる「わかやま産業を支える人づくりネットワーク」主催。初めての開催で5校25チームが参加し、企業関係者らが獨創性や分析力、発表態度などを審査。最優秀賞1チーム、優秀賞2チーム、審査員特別賞3チームが決まった。

田辺工業高校からの優秀賞のうち1チームは、「県高校生ロボット競技会出場ロボットの構造」をテーマに発表した機械科2年生の榎本悌也君と電気電子科1年生の中村信介君。自動ロボットとマイク

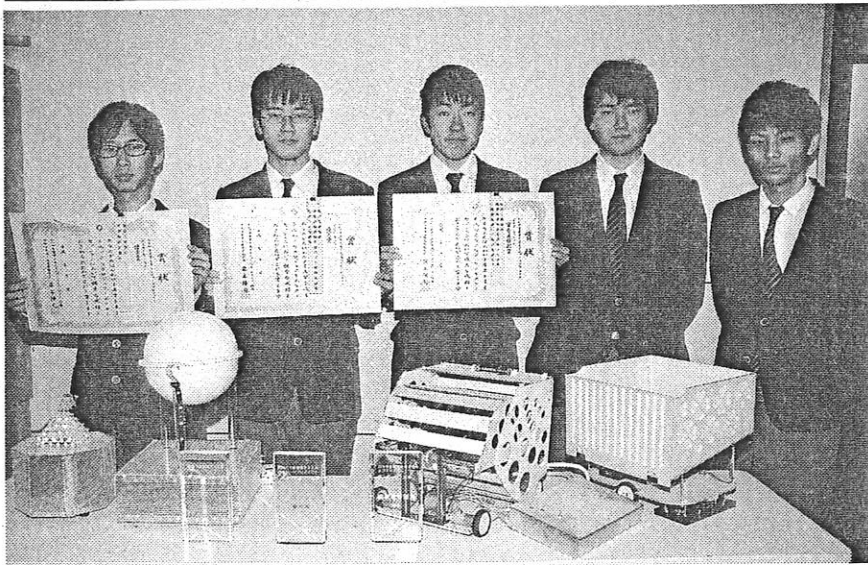
ロコンピューターで制御された自動ロボットについて紹介した。もう1チームは「照明器具の製作」をテーマにした電気電子科3年生の愛須隼斗君と蒲田尚浩君。県高校照明コンクール大会で金賞を受賞した照明器具について発表し、LEDを使い、明るさが自動で調整される構造や製作過程などを説明した。

特別賞には同校から、機械科3年生の玉置達哉君、中嶋祐聡君、片山聖也君による発表「国家検定技能士資格への挑戦」技能を磨いて自分を磨く」が選ばれた。技能検定や受験内容、結果などをまとめた。

中村君は「家でも練習」、一般の人にも分かりやすいように専門用語を使わずに説明するようになった。まさか受賞

するとは思わなかった」、蒲田君は「電気電子科だけでは学ばない機械科で学ぶ内容の勉強もできて、いい経験になった」、中嶋君は「技能検定は自分ができるか挑戦でき、今は機械検査2級の勉強をしている。いままでしてきたことをそのまま伝えたい」と話した。

この研究発表大会の前には工業教育研究発表大会があり、田辺工業高校は研究部門で「差動歯車の機構解析と試



「わかやま産業を支える人づくり研究発表大会」で優秀賞などを受賞した田辺工業高校の生徒

作車製作」赤外線センサー・電磁リレー・PICマイコンを用いた制御」をテーマに参加した2チームが佳良賞だった。